

事業番号	09 03 01	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	主要穀類競争力向上推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課	
		実施期間	S53 ～	E-mail	nogi @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・米・麦・大豆及びそば等の土地利用型作物については、営農の継続が可能な所得の確保とあわせ、需要に応じた生産や品質の確保・向上が実需者から求められており、生産者団体等関係機関と連携した産地づくりを図る必要がある。
・主要農作物種子については、「長野県主要農作物種子生産ビジョン」に沿った施設整備支援等による安定的な種子供給体制の整備と種子生産技術の向上を図る必要がある。

2 事業目的

・米については、国内需要に応じた適正生産に引き続き取り組むとともに、農産物検査に基づく全国トップクラスの 1 等米比率など長野県産米の強みである高品質の維持、輸出用米の取組拡大等の新たな米の需要創出を図る。
・そば・麦・大豆については国産ニーズが高まっていることから、安定生産・品質向上並びに産地づくりを推進する。

3 事業目的を達成するための取組

①主要農作物の戦略的な生産拡大・ブランド確立の推進
・穀物産地において収益力強化を図るため、必要な機械・施設などの整備を支援
・麦・大豆産地について、団地化の推進や生産性向上を図るため、新規技術の導入を支援
・水稻「風さやか」の品質向上やブランド化を推進するため、イベントの開催、PR活動を支援
・信州ひすいそばを生産拡大するため、産地化に取り組む地域、PR活動を支援
・地域計画に基づく地域農業の将来像の実現に向け、ライスセンターや乾燥調製施設等、共同利用施設の再編集集約・合理化を支援
②主要農作物の種子生産者に対する支援等
・種子の安定生産を図るため、種子生産者が策定した「種子場産地強化計画」に基づく、後継者の確保・育成及び機械施設の改修による種子生産体制の整備
③主要穀類生産の経営体質強化の支援
・長期的には主食用米の国内需要が減少する中、海外需要にも目を向け、輸出用米等へ転換する仕組みを支援
・そば・麦・大豆の本作化を推進するため、産地で推進する品目の導入など、経営体質の強化に向けた地域の取組を支援

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	主要農作物のオリジナル品種の栽培面積	ha	4,060	↗	4,140	↘	3,880	↘	4,300	未達成	オリジナル品種の拡大状況を評価するための指標として、主要農作物（米・麦・大豆・そば）の推進状況を踏まえ、4,300haを目標とする。
②	主要農作物種子の生産計画達成率	%	104	↘	98	↗	108	↗	100	達成	種子産地及び種子管理団体の計画の進捗状況を把握するため、生産実績による計画達成率を目標として設定。
③	水田への高収益作物などの作付面積	ha	11,969	↘	11,210	↘	10,255	↘	10,689	未達成	主食用米の計画生産と、需要を踏まえた水田への高収益作物などの作付け誘導により、水田の利活用状況について評価するための指標として設定し、R 7 年度は主食用米の需要増加を踏まえた生産数量目安値を考慮し10,689haを目標とする。

5 本事業が貢献する総合 5 か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近 3 か年の状況					目標		
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,278	2025 (R7)	4,684 (県推計値)	2027 (R9)	3,700

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	753,368	1,251,023	597,948	2,602,339	26,682	1,073,528	6.0
R6年度	346,075	1,046,864	409,321	1,802,260	25,239	602,567	6.0
R5年度	1,567,340	572,523	116,901	2,256,764	28,464	1,732,016	6.0

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・主食用米については、令和 7 年度の供給不足を受けて、県内への安定供給が強く求められている。
- ・主食用以外の米についても、加工用米を使用する味噌・酒造メーカーなどを中心に県内実需者にも一定の需要があることから、県内需要に対する安定供給が必要である。
- ・主食用米の需要は、国内人口の減少や食の多様化に加え、令和 7 年度の需要を増加させたインバウンド（訪日外国人客）等の人流増加や小麦製品の値上がりによる相対的な値頃感など、国際情勢の影響も受ける。資材価格の高騰等の不透明な状況を抱える中で安定生産を行うため、再生産可能な価格と需給の安定化が求められている。
- ・主食用米の価格高騰により、麦・大豆・そばについては相対的に作付意欲が低下傾向にあるが、県内実需者から求められる質・量に達していないため、引き続き生産性向上が必要である。
- ・主食用米の種子産地では、後継者の確保・育成と施設の老朽化が課題となっている。

(2) 事業改善の方策

- ・主食用米については、県内への安定供給を前提として、食味・品質ともに優れた高品質な米の生産を進めるため、施設の再編集約・合理化を含めた施設整備・機械導入を支援するとともに、生産技術を指導する。また、主食用米のうち酒造好適米についても、県内実需者と生産者の情報交換や複数年契約による安定取引を推進する。
- ・主食用以外の米（加工用米、飼料用米、新市場開拓用米）についても、県内への安定供給を図るため、県内実需者との複数年契約に基づく生産を支援するとともに、多収品種や高温耐性品種の導入を含めた低コスト生産を推進する。また、国内需要量が再び減少に転じても適正な米価を維持するとともに、県産米の新たな需要を創出するため、米の輸出に係る取組を支援する。
- ・麦・大豆については、需要に応じた品種構成や基本技術の再徹底による品質向上を図るとともに、農地の有効活用、食料自給率向上等の観点から、県内実需者の需要を踏まえた増産を推進する。
- ・「長野県主要農作物種子生産ビジョン」に基づき、「種子場産地強化計画」の策定を進め、技術継承や施設更新について計画的な支援を行う。

事業番号	09 03 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	主要穀類競争力向上推進事業		部局	農政部	課・室	農業技術課

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業		1,494,782 千円	367,059 千円	828,142 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	穀物生産振興施設等の整備に対する支援	補助金	・意欲ある農業者等が穀物産地の営農戦略に基づく収益力強化の取組に必要な農業用機械・施設等の整備を総合的に支援 ・地域計画に基づく地域農業の将来像の実現に向け、ライスセンターや乾燥調製施設等、共同利用施設の再編集約・合理化を支援 施設整備3か所、機械の導入2か所		
2	水稻及び麦・大豆・そばの生産振興	直接	・需要に的確に対応した米・麦・大豆・そばの生産振興方針の策定 ・生産体制を強化するための技術研修会等の開催 研修会5回（米1、麦1、大豆・そば1、総合1、雑草対策1）		
3	農産物検査に関する業務	直接	農産物検査制度に基づく、検査機関の登録審査及び立入調査の実施 新規登録3件、登録更新23件、立入調査13機関		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	主要穀類戦略的産地育成・普及拡大支援事業		3,930 千円	3,603 千円	2,205 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県オリジナル品種（米）の普及促進	補助金 直接	県オリジナル米「風さやか」の品質向上、栽培技術向上及びブランド化に向けたイベントの開催、PR活動の実施 風さやか生産面積1,683ha		
2	信州ひすいそばの産地化支援	直接	・信州ひすいそばの生産拡大に向け、新規栽培の取組を支援 ・ブランド力向上に向けたPRの実施 そば長野S11号（信州ひすいそば）の生産面積46ha		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	種子対策事業		12,589 千円	10,170 千円	16,549 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	主要農作物の種子生産者に対する支援	補助金	種子生産者が策定した「種子場産地強化計画」に基づく、後継者の育成及び機械施設の改修による種子生産体制の整備 水稻種子産地の機械整備 1か所、新規種子生産者支援 1件		
2	奨励品種決定調査	直接	・原原種及び原種の採種ほ場の設置 ・奨励品種決定調査の実施 奨励品種決定審査ほ場の設置20か所（米10、麦4、大豆3、そば3）		
3	原種センターへの支援	補助金	主要農作物種子（米、麦、大豆、そば）の安定生産・供給及び災害に備えた種子備蓄に係る原種センターへの支援 人件費補助3名分及び種子備蓄経費等を支援		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	経営所得安定対策等推進事業		199,718 千円	190,828 千円	189,826 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	制度への加入促進及び事業推進	補助金	・経営所得安定対策の説明会開催 ・農業者別生産数量目安値の通知、申請書の配布、回収、実績確認等 ・主食用米以外への転換の推進 補助金交付60か所、補助金額189,196千円		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	主要穀類経営確立推進指導事業		6,055 千円	2,462 千円	2,581 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	主要穀類生産者の経営体質強化支援	直接	麦・大豆・そばの産地力強化のための実証ほの設置やブロックローテーションの推進を支援 実証ほ2か所（そば、大豆）、補助金額600千円		
2	水田農業の体質強化に係る推進	補助金	米価維持のため、県が推進を図る品目（麦、大豆、飼料用米）への転換を支援 18 ha、898千円		
3	輸出用米の産地づくり支援	補助金	地域農業再生協議会、農業者、輸出事業者が連携して輸出用米の産地づくりを図る地域に対して、輸出用米の取組拡大に係る経費を支援 取組拡大面積0ha(供給不足が生じた主食用米への切替により輸出用米の取組が減少)		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
6	県産小麦品質向上・生産拡大支援事業		14,942 千円	28,445 千円	34,225 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	実需者ニーズに応じた品質の小麦の生産を支援	補助金	県産小麦の品質向上と生産拡大を図るため、実需者ニーズに応じた品質の小麦を生産した農業者を支援する 実需者ニーズに応じた品質を満たす小麦の生産量 4,889t（R7年産）R6→R7繰越		